旭川市立愛宕中学校　学校だより

清新愛宕

NO.２　令和７年５月号

開　校　記　念　日

校長　濱　中　昌　志

６月２日(月)、本校は３７回目の開校記念日を迎えます。この日を迎えるたびに、私たちは改めて「なぜこの学校がここにあるのか」「どのような願いが込められて創られたのか」を思い返すことが大切だと考えています。

本校は、地域の皆様の強い願いや関係者のたゆまぬ努力のもとに、昭和６３年に設立されました。創立当初から受け継がれてきた教育理念や校訓には、「未来を担う子どもたちを地域全体で育てよう」という想いが込められています。そして、その想いは、今も確かに学校の中で息づいています。

開校記念日は、単なる「休日」ではありません。それは、私たち一人一人が学校の歩みを振り返り、自分たちの学びや成長、地域とのつながりに思いを寄せる日でもあります。そして、これからの学校や自分自身のあり方を考える機会でもあるのです。

これからも、子どもたちが夢と希望を持って歩んでいけるよう、保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせながら、より良い学校づくりに努めてまいります。

歴史を振り返る

本校における開校記念日のスタートは、昭和６３年５月８日に開催された「開校記念式典・祝賀会」となります。その翌年からは５月８日が開校記念日とされてきましたが、ゴールデンウイークや学校行事等との関係からか、数年後には５月１日を開校記念日としてきたところです。そのような中、今年度からは、進級後の学年・学級づくり、また、修学旅行の準備期間なども踏まえ、６月第１月曜日とし、自分たちの学びや成長、地域とのつながりに思いを寄せる日として、生徒とともに成り立ちや歴史を振り返ると同時に、新たなレガシーを作り上げる大切な日としています。

校名の由来

「愛宕」という名称は、明治時代に東旭川に入殖した屯田兵の有志が建立した「愛宕神社」（現在は旭川神社に合体）が基源となっています。昭和１２年東旭川村が行政区として 16 の字名がつけられましたが、その時にこの地域が「愛宕」と名付けられ、昭和５４年まで町名として使用されてきた経緯にあります。

本校が建設された位置は、当時の東旭川町上兵村ですが、校下は旧愛宕地区が大半であり、昭和６２年１月１９日、母体校である東陽中学校、同分校期成会が校名募集を行った結果、意見のほとんどが「愛宕」という文言を残したいとの希望であったため、「愛宕中」と名付けられ、愛宕の「愛」という文字にちなんで、愛情に満ちた教育の推進を願い、開拓の精神を受けつぎながら、「未来をきり拓く創造性豊かな生徒の育成」を志向してきております。

当時、寄せられた他の学校名は？

「東豊中学校」「東陽東中学校」「東栄中学校」「東陽第二中学校」「北陽中学校」「豊岡中学校」「旭陽中学校」「共栄中学校」ほか

６月は中連旭川地区体育大会があります。日程は、以下の通りです。　各部の健闘を期待します

中連陸上競技大会　６月７日(土)～８日(日)

中連体育大会　６月２０日(金)～２３日(月)